

# Newsletter

Vol. 9

2009.7.27

日本養護教諭養成大学協議会

事務局：岡山大学大学院教育学研究科

高橋 香代

〒700-8530 岡山市北区津島中3丁目 1-1

TEL&FAX 086-251-7699

## ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ 目 次 ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

協議会会長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	選挙管理委員会だより・・・・・・・・・・・・・・・・	7
2009 年度評議員会・総会等・・・・・・・・・・	2	事務局からお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・	7
各種委員会活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・	2	ホームページの活用・・・・・・・・・・・・・・・・	7
トピックス（新型インフルエンザ情報）・・	3	編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
会員大学紹介 初年次教育・・・・・・・・・・	5	資料 Newsletter バックナンバー・・・・・	8



### 協議会会長挨拶

高橋 香代（岡山大学）

ぱりと寂しさや無念さを思うと言葉もありませんでした。

大谷尚子前会長から引き継いだ私の会長任期も、後半余年りとなりました。2007年9月の会長就任以来、本養成大学協議会を巡る状況は、非常にあわただしいものでした。

養護教諭養成の観点からは、中教審答申「子どもの心身の健康を守り、安全・安心を確保するために学校全体としての取組を進めるための方策について」

（2008年1月）を受けて、学校保健安全法が2009年4月から施行されています。また、2010年度入学生からは「教職実践演習」が必修化されることとなり、各大学では現在課程認定作業の最中だと思えます。

大学教育全体から観ると、「教育振興基本計画」（2008年7月）では、2008年度からの「5年間を高等教育の転換と革新に向けた始動期間と位置づけ、中長期的な高等教育の在り方について検討し結論を得る」と計画されています。その後の中教審答申「学士課程教育の構築に向けて」（2008年12月）では、各大学の自主的な改革を通じて、学士課程教育における、学位授与の方針（ディプロマポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）、入学者受入れ方針（アドミッションポリシー）の明確化が要請されま

### 養護教諭養成の質保証のための連携

日本養護教諭養成大学協議会は、学校看護婦誕生から100年目にあたる2005年に発足しました。加盟64大学・短期大学（部）で発足した本協議会も、2009年4月の時点で、加盟大学は98大学・短期大学（部）となって（正式加盟大学数は会費納入後に決定）、課程認定大学の約8割が加盟しています。2009年度になっても、4年制大学や大学院から新規加入申請が続きましたが、ほぼ同数の短期大学（部）から退会届が届きました。少子化が進み、本格的大学全入時代を迎えて、大学再編が急速に進んでいる影響と思えます。退会のご連絡をいただいた先生方の、これまでのが

した。質保証については、分野別のコア・カリキュラムづくりや分野別評価の導入も示されています。また本年度から開講されている教員免許状更新講習についても課題が山積と言うところです。

本養成大学協議会としては、大学間の横のつながりを深めて、養護教諭養成教育の質の保証や、大学教育の構造転換への対応等で知恵を出し合っていく必要があると思います。皆様のご協力のもと、新たなメンバーが役員会や常設検討委員会の活動を充実させて、情報収集・課題整理の作業を通して意識を共有化して取り組むことに期待したいと思います。



## 2009年度評議員会・総会 および養成教育ワークショップの開催について

副会長 徳山 美智子(大阪女子短期大学)

大学改革の進む中で、日本養護教諭養成大学協議会は創設4周年を迎えました。この間、加盟大学・短期大学(部)数は、64大学から、98大学に増加しました。この数字から、今日の養護教諭養成教育が直面する課題の多様性と共に、本協議会への期待を読み取ることができます。

このたび、2009年度評議員会および総会を下記のとおり開催いたします。本年度の養成教育ワークショップは、2010年度入学生から開始される『教職実践演習』を取り上げることにしました。文部科学省初等中等教育局教職員課の担当官をお招きして養護教諭対象の教職実践演習について情報提供をいただくとともに、加盟大学・短期大学(部)の取り組みや課題を共有し、養成教育を協力して充実させていく機会となることを期待しております。

加盟大学・短期大学(部)の皆様におかれましては、ご繁忙の折とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加下さいますようお願い申し上げます。



### 日本養護教諭養成大学協議会 2009年度評議員会・総会および養成教育ワークショップ

1. 日時: 2009年9月4日(金) 10:00~16:30
  2. 場所: キャンパス・イノベーションセンター1F 国際会議室  
(東京都港区芝浦3-3-6)  
(<http://cic-hp.zam.go.jp/tokyo/access.php>)
- ※会場へのアクセスは、ホームページをご覧ください。

#### 3. 内容:

開会	10:00
第1部 評議員会	10:00~11:00
第2部 委員会報告	11:00~11:30
① 教育課程委員会	
② 養成制度委員会	
③ FD検討委員会	

#### 昼食

#### 情報交換

(お弁当を準備いたします。一人1,000円を徴収します。)

#### 第3部 養成教育ワークショップ 13:00~15:50

- 1) 養護教諭対象の教職実践演習について  
文部科学省初等中等教育局教職員課担当官
- 2) 教職実践演習に関する事例報告
  - ① 4年制大学における取組
  - ② 短期大学における取組
- 3) 教職実践演習に関するワークショップ
- 4) 総合討論

#### 第4部 2009年度総会 16:00~16:30

閉会	16:30
----	-------

## 各種委員会活動報告

### 養成制度検討委員会活動報告

委員長: 高橋 香代 (岡山大学)

養成制度検討委員会は、2008年度からの免許状更新講習への取組を行なってきました。2009年度は本格実施後の課題整理を行なうために、9月にアンケート調査を行なう予定です。また養成制度検討委員会として、次期委員会で検討すべき課題の整理を行なう予定です。

## トピックス

## 教育課程検討委員会

委員長：岡田 加奈子 (千葉大学)

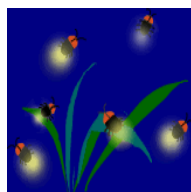
養成大学の背景別にカリキュラム構成や内容の傾向の違いを、日本教育大学協会養護部門が発表した2008年コアカリキュラムをもとに明らかにしようとしています。大学のシラバスの一つ一つの科目の目標や1回ごとの授業内容から分析を行っていますので、途方もない作業量を伴います。総会時に、何とか概要を発表できるように、メンバー一同、がんばっております。



## FD委員会活動報告

委員長：瀧澤 利行 (茨城大学)

FD委員会では、委員長のもとで昨年のワークショップの際に行われた各大学へのアンケート調査の集計結果と当日のワークショップにおけるグループワークでの意見をまとめた報告書作成の最終段階に入っている。8月には原稿を印刷所に入稿し、9月の総会時に配布できるよう準備をしている。また今年度の活動については、原案として養護教諭養成における教職教養のあり方についての検討を考慮している。委員会での意見集約を経て、アンケート調査等を考えていきたい。



## 新型インフルエンザ情報

## 新型インフルエンザの緊急対処行動の報告

藍野大学 中桐 佐智子

新型インフルエンザの関西地域発生に大学として如何に対応したかを振り返って報告する。メキシコで発生した新型インフルエンザがアメリカ、カナダに広がり、世界的な流行の兆しが見え、5月に入ると、日本での患者発生も懸念されはじめた。

5月1日(金)；文部科学省は「新型インフルエンザに対する対応(第3報)」で国内にインフルエンザが発生した場合の休校措置等を要請する。

7日(木)；学院長の指示で、「新型インフルエンザ感染防止対策会議」を開催し、藍野学院に所属する高校、短大、大学等の関係者が集まり、発生時の対策と予防について討議する。続いて大学の「教務委員会」で、学生の健康状態の把握と緊急連絡網の整備、患者発生時の休校を話し合う。

8日(金)；カナダから帰国した大阪府の高校生と引率教員4人が感染していることが確認され、病院に隔離入院し、濃厚接触者がホテルに停留措置される。空港等での水際の検疫対策が強化される。

11日(月)；看護学概論の授業で1年生に対し現在の健康状態と外国旅行者の接触の有無を調査する。新型インフルエンザの予防について講義し、うがいと手洗い、自己の健康管理意識を高める。

16日(土)；兵庫県の渡航歴のない高校生が感染し隔離される。大阪府茨木市内の高校生も陽性反応があり、遺伝子検査を始める。藍野高校は休校を決定し、戴帽式、看護実習を中止する。

17日(日)；茨木市内の高校生の多数に感染が確認され入院した。藍野大学では関係教職員が緊急事態を予想し出勤する。13時に茨木市教育委員会から休校の要請があり、学長・学部長・事務長が協議し、17日から24日まで休校と図書館の閉鎖を決定し、学生及び教員

に連絡網で周知する。茨木市危機管理室と文部科学省に報告する。15時30分に大阪府知事から休校の要請文がくる。

18日(月)；「学科長会議」で、学生への連絡はホームページと携帯電話メールでおこない、毎日の健康状態を把握することを確認した。

#### 学生に送信した内容

1. 毎朝10時までに、以下の点について、自己確認し異常のある場合は必ず担任に報告すること。
  - 1) 検温測定を行い、37度以上の発熱がある場合
  - 2) インフルエンザに関連する症状のある場合
    - ① 受診の有無・予定
    - ② 「新型インフルエンザ」の診断の有無

理学療法学科の4年生が広域地域の病院実習中であつたので緊急にとつた措置。

大学の休校に伴って、実習施設が兵庫県、大阪府にある学生は中断する。18日に実習担当者が中断対象の施設に「実習の中断と、今後の補充実習は休校措置解除後に相談する」事を連絡する。

18日(月)～23日(土)学生からの健康状態報告を学科長補佐から教員に毎日10時に報告する。

(報告例)

5月19日(火) 10時

看護学科学生の健康状態について、各学年担任から報告が揃いましたので報告いたします。

学生本人に異常有り3名、家族に異常有り1名。現時点で、「新型インフルエンザ」の診断を受けた学生はありません。

① 家族に有が1名；学生の家族(小6の弟と19歳の妹)が37.6℃の発熱有り。保健所に連絡したが「新型インフルエンザの可能性は低いかもしれない。もう少し様子を見るように」といわれた。

② A；17日から37.8℃発熱・全身倦怠感、発熱があつたが未受診。現在は36.8℃、悪寒のみ。本日発熱外来に相談したので、受診予定。

③ B；昨夜から37.8℃発熱。すぐに受診して「感冒」と診断。現在36.0℃。

④ C；全身痛と頭痛、37.6℃、今から受診予定。

22日(金)；「学科長会議」を開催し、教員と学生の健康を確認し、大阪府内の患者の広がりもないことより、25日から授業を再開することを決定する。

「学生委員会」を開催して以下のことを決める。

- ① 学生への連絡及び報告システムの整備。
  - ② 学生ホールや教室の入り口への消毒薬の配置。
  - ③ 学生からの報告を求めるべき体温、体調等に関する基準の統一
  - ④ 掲示による手洗い・うがい・マスク着用指導の徹底等。
- 23日(土)；茨木市教育委員会から、休校の解除の要請文が届く。

以上のように、感染拡大と予防に緊急対応した結果、大学として幸いにも患者の発生を見なかった。しかし予め緊急連絡網の整備を促していたにも関わらず、当日連絡のつかない学生及び教員が数名おり、反省している。現在は、各教室及び洗面所に消毒薬を配置して、手洗い及び手指の消毒の励行をし、マスクを希望する学生に配布している。

これから総合実習、地域看護実習、基礎看護実習が行われる。その合間を縫うようにして、休校した1週間の講義の補習と中止した行事の実施に、土・日曜日も利用して忙しい毎日を過ごしている。(5月末記述)

## インフルエンザに備えて

名古屋学芸大学短期大学部  
大原 榮子



5月9日に日本国内ではじめて「新型インフルエンザ」が発生したことを告げる全国ニュースが流れた。それまでは、世界の発生状況から日本において発生した場合、これを水際でどう阻止するかがしきりに言われていただけに、「とうとうわが国においても」と言う気持ちでニュースを聞いた。それからは、日を追う毎に関西地区での多発状況が告げられた。そして、これを追うように関東地区での罹患者増加を耳にするようになった。

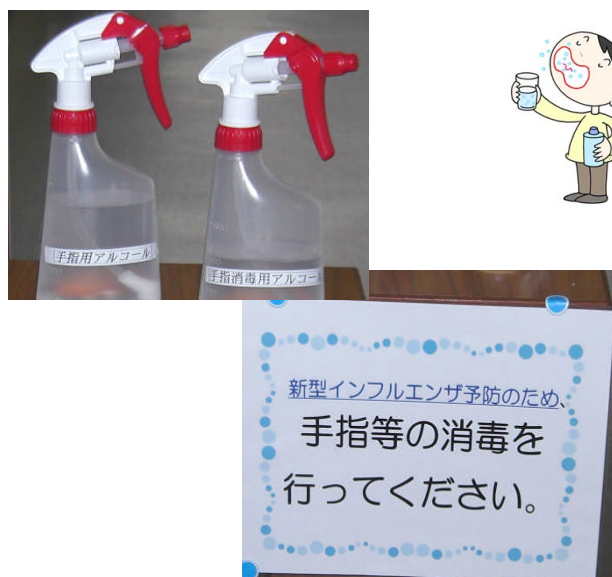
東からも西からも新型インフルエンザの流行と学校の休校措置を聞く中で、大変なことが世界中で、また日本においても起きていることに危機感を抱きながらも、その中間地域である中部圏では発生が無かつたため、身近に感ずることがほとんど無い状況が続いてい

た。

しかし、翌週（6/1）から養護実習が始まろうとする寸前のところで、名古屋市の教育委員会から各大学及び実習生に問診票が送られてきた。これは正に、新型インフルエンザへの注意を喚起することと現在の健康観察の把握であり、A4 の用紙に毎日の検温と健康観察の結果を記入する様式のものであった。これを受けて、5月29日で実習へ行く学生の健康状態について個別に確認をし、大学でまとめて名古屋市教育委員会へ報告を行なった。このような報告や学生への注意の呼びかけをしているうちに、6月15日に名古屋市在住の大学生の新型インフルエンザ発症が確認された。愛知県内の大学ではこれが最初の休校となり、その行方を見守った。

愛知県においては、「新型インフルエンザ発生に伴う大学への臨時休業等の要請について」政府から平成21年5月22日に示された「基本的対処方針」及び厚生労働省から同日付けで示された「医療の確保、検疫、学校・保育施設等の臨時休業の要請等に関する運用指針」に基づき、学生の所属する大学の学校法人に対して、臨時休業を含め感染が拡大しないよう配慮することが要請された（愛知県ホームページ参照）。

以降、7月15日現在までに、愛知県では279人の症例数が報告され、小・中・高等学校、大学の34校が休校措置をとっている。これまで学内において手洗いとうがいの奨励、校内の数カ所にアルコール消毒容器を設置してきた本学においても、7月13日（月）に新型インフルエンザ感染者が発生し、翌7月14日（火）からの3日間が休校となった。教員採用試験直前であり、また前期定期試験の真っ直中で休校で、その痛手は大きい。



# 初年次教育 初年次教育

兵庫大学 健康科学部 看護学科  
辻 立世

4年前に看護学科が新設された。入学した学生の背景はまちまちで、大学生としての自覚もないまま大学生活を送り、専門科目の授業が入る頃にはいろいろな戸惑いを持つ者も少なくない。そこで、1年生に「初年次教育を」との声が上がり、昨年より「初年次教育」を導入し、出席は学生の自主性に任せたが、入学後できるだけ早く大学教育環境に適応し、学習が自立的にできるための基礎的知識と技術を学ぶことが必要であり、本年度より全員が履修修得することになった（2単位）。科目名は「基礎ゼミ」とし、開講時期はI期（前期）に割り当てられている。授業の方法は「演習」であるが講義と演習がセットになっている。初年次教育は、入学時オリエンテーションからスタートし、学科の教員全員で担当し、専門科目を持つ教員も初年次教育によって学生との顔つなぎができる利点がある。

ガイダンス・看護学科の紹介や大学生活、学習方法、看護専門職としての学問的追究に必要な文献講読。ノートテキングではノートを取るよりも話者の顔を見ることの大切さや授業の聴き方の学習後ノートを取る方法等の演習を行う。レポートの書き方は自分の考えや主張を伝えるために書くことを通じて思考のプロセスを理解し、レポートの書き方や提出方法の基本を習得する。グループワークの方法は専門職に必要な内容を取り上げ、将来指導者として、研究的・志向的に問題解決に向けてのグループワークの実際を学ぶ。コミュニケーションの基礎的な方法と考える能力を養い、演習を通じてコミュニケーションについて考える能力を養う。プレゼンテーションの基礎的方法と演習を通じてプレゼンテーションの実際を学ぶ。以上の内容を修得し、大学生活を有意義に送り積極的に学習できるように支援するものである。文献・資料等については担当教員から事前に指示があるか印刷物を用意することになっている。評価については、まだその段階に至っていない。

鈴鹿短期大学  
永石 喜代子



近年、大学新生を対象として行われる「初年次教育」の重要性が高まってきています。同時に、養護教諭養成における教育目標の明確化が求められます。入学時、卒業時に学生に期待する要素とは何かを明らかにするためには、3つのポリシー（Admission Policy、Diploma Policy、Curriculum Policy）を明確にしていくことが重要となります。今回、本学の初年次教育を紹介させて頂き、議論の端緒となれば幸いです。

「初年次教育」は高校生を大学生に移行させるための教育です。入学生は専門的知識を持っていないのは当然ですが、それ以前に、「大学での学び」に戸惑い、適応できない学生が年々増加してきました。その誘因の一つに、高校までの学び「受容的」から「自主的」な学びである「学びの質の転換」、つまり学習スタイルの転換に適応でなかったことが挙げられます。

そこで、「学びの質の転換」への学生支援が「初年次教育」として重要となります。教育内容は、文科省告示の学習指導要領で提唱している教育目標「確かな学力（知育）」「豊かな人間性（徳育）」「健康と体力（体育）」のプログラム内容と、3つのカテゴリーのバランスが重要であると考えます。

本学は「誠実で信頼される人に」という本学の建学の精神を掲げ、(表1)のような「初年次教育」を展開していますが、まだまだ検討して行かなければならない重要な課題となっています。他大学のモデルやご意見を参考にさせて頂きながら、「初年次教育」を充実させていきたいと考えております。



(表1) 2009年度 初年次教育（鈴鹿短期大学）

確かな学力（知育）	豊かな人間性（徳育）	健康と体力（体育）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学前オリエンテーション (日本語学習・文章表現・自己表現)</li> <li>・高校生講座 SUZUTAN・DAY (レポートのまとめ方・ノートの取り方・新聞コラムからの学習)</li> <li>・総合演習（基礎知識）</li> <li>・教養講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学前オリエンテーション</li> <li>・学長講話：基礎教養（学ぶとは）</li> <li>・上級生との交流・コミュニケーション能力・学校犬すずとの触れ合い</li> <li>・オープンキャンパス時相談</li> <li>・総合演習（学長講話・コミュニケーション能力アップ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的生活習慣、健康管理 (食事・睡眠・運動・禁煙など)</li> <li>・入学生へのメッセージカード</li> <li>・入学試験時面談</li> <li>・総合演習（喫煙と健康・覚醒剤の危険・日常生活の見直し）</li> <li>・ゼミナール担当者との面談</li> </ul>

福井県立大学看護福祉学部  
教職課程（養護）担当 大川 洋子

本学の養護教諭（1種免許）の養成は全学的な教職課程のカリキュラムに位置づけており、教職課程の専任教員を主として教育を行っています。看護学科開学から今年で11年目を迎え、毎年、約20名前後の学生が養護教諭を選択履修しています。これらの学生は、看護学に関する124単位に加え、21単位以上の科目を取得しなくてはならないため、履修状況は過密にならざるを得ません。学生達は看護学との両立に四苦八苦しながらも、まじめに取り組んでいます。

多くの看護系大学において養護教諭1種免許取得課程を担当する教員は、免許を持っていても学校現場での実務経験がなく、指導方法に頭を悩ましていると聞きますが、本学でも同様の問題点を抱えていました。しかし、今年度から大学側の配慮により、長年の実務経験がある元養護教諭を非常勤講師として迎えることとなり、より実践的な指導体制を整えることができました。

先述したように、本学科において養護教諭を選択する学生は、ほぼ毎年、2～3人にひとりの割合です。養護教諭への志が高い学生もいますが、資格取得だけを目的にした学生のほうが多いというのが現状です。また、新卒者の採用試験合格率は非常に低い状況にあります。看護職として3～4年程度の実務経験をした後、養護教諭となった卒業生は約5%弱と少ない状況です。その背景には厳しい採用状況があります。このような現状を踏まえ、本学では養護教諭の免許を取得するだけという安易な考えではなく、学校現場で養護教諭として責任のある実務を遂行しなくてはならない厳しさを学生に自覚させ、質の高い養護教諭の育成を目指したいと考えています。

# 選挙管理委員会だより

選挙管理委員会  
竹鼻 ゆかり (東京学芸大学)

選挙管理委員会では、6月上旬に評議員の皆様へ日本養護教諭養成大学協議会役員選挙に関する書類を送りました。その後、選挙に関する手続きは順調に進み、6月27日(土)に投票を締め切り、7月1日(水)に開票し、上位16名を当選者としてしました。投票結果は、9月4日(金)総会にて皆様へ報告します。ご協力ありがとうございました。



## 事務局からのお願い

藍野大学 中桐 佐智子

新年度になり、事務局は、各大学からの基本調査を集約し、評議員の名簿作成、会費の受け入れ、次期役員選出等慌ただしく過ごしております。まだ会費を納入していない大学は、振り込む際に大学名を記入して下さい。銀行通帳には、12字しか印字されませんから、大学名称が記載されなくて、ホームページや銀行窓口或いは電話で直接確認をするケースがありました。

会員大学は、6月末までに3大学が退会し、4大学が入会しました。新会員は、四天王寺大学、甲南女子大学、松本大学、東京成徳大学です。未加入の大学や新たに養護教諭養成の課程認定を受けた大学をご存じの先生は、会員大学の獲得にご協力下さい。以上事務局からのお願いです。



## ホームページの活用について

本協議会の広報活動の一環としてHPを開発して早くも1年が経過しようとしています。

HPの作成目的は、本会の情報をより新鮮・便利で分かりやすいものとする事で、本協議会をより一層みなさまの身近な存在とすることです。

今後も努力を重ねて参りますので、忌憚のないご意見をお寄せ下さい。

<http://www.j-yogo.jp/>



## 編集後記

7月22日は46年ぶりの皆既日食に日本中が注目しました。皆既日食が次に見られるのは26年後の2035年9月とのこと。本協議会の26年後はどのような発展を遂げているのか期待が膨らむところです。

本協議会の26年後は創立30周年を迎え、ネットワークの成果が様々などころで見られることを願っています。創成期の今期は基盤づくりのために理事が一丸となって展望をもって協議を重ね、活動しているところです。

さて、ニューズレター9号は、トピックスとして新型インフルエンザ対策と初年次教育を取り上げました。原稿をお寄せくださいました加盟大学には心より感謝申し上げます。ニューズレターは、加盟大学間の横の繋がりを深める役割を担い、タイムリーな記事を工夫しています。今後も、本協議会の設立趣旨を受けて鮮度の高い情報を提供し、大学間の相互交流を図っていきたく思います。バックナンバーはページの最後に記載しましたので、ご参照いただけたら幸いです。

各大学は前期の授業は終わっても、ゼミや研修会、教育実習などの教育活動が続いているのではないかと思います。暑さが厳しい折です。みなさまくれぐれもお身体をご自愛ください。

9月の総会では、みなさまとお会いできる事を楽しみにしています。

櫻田 淳 (埼玉県立大学)  
楠本久美子 (四天王寺大学)  
大原 榮子 (名古屋学芸大学短期大学部)



日本養護教諭養成大学協議会ニューズレターVol.9  
発行 日本養護教諭養成大学協議会  
編集責任者 高橋 香代 (岡山大学)  
[kayosan2@cc.okayama-u.ac.jp](mailto:kayosan2@cc.okayama-u.ac.jp)  
連絡は月・火・木にお願いします。

資料 Newsletter バックナンバー

Newsletter Vol.5 (2008.3.27 発行)

1. 協議会副会長挨拶・・・徳山美智子(大阪女子短期大学)
2. 中央教育審議会答申から学校保健安全法に向けて  
.....岡田加奈子(千葉大学)
3. 教員免許更新講習への取り組み・高橋 香代(岡山大学)
4. 各種委員会活動報告
  - 1) 養成制度検討委員会.....岡田加奈子(千葉大学)
  - 2) 教育課程検討委員会.....高橋 香代(岡山大学)
  - 3) FD委員会.....瀧澤 利行(茨木大学)
  - 4) 委員会活動に積極的に参加をお願いします  
.....荒木田美香子(大阪大学)
5. 卒業教育の充実を目指して—リカレント教育講座の開催—  
.....大原 榮子(名古屋大学短期大学部)
6. 事務局お知らせ
  - 1) 会計.....中桐佐智子(吉備国際大学)
  - 2) 編集後記.....櫻田 淳/楠本久美子

Newsletter Vol.6 (2008.7.28 発行)

1. 協議会副会長挨拶.....鎌田 尚子(女子栄養大学)
2. 2008年度評議委員会ならびに総会  
.....楠本久美子(四天王寺国際仏教大学短期大学)
3. 各種委員会活動報告
  - 1) 教育課程検討委員会.....岡田加奈子(千葉大学)
  - 2) 養成制度検討委員会.....高橋 香代(岡山大学)
  - 3) FD委員会.....瀧澤 利行(茨木大学)
4. データベース調査のお願い  
.....大原 榮子(名古屋大学短期大学部)  
.....津島ひろ江(川崎医療福祉大学)
5. 完成年度を迎えた名古屋学芸大学ヒューマンケア学部  
.....堀内久美子(名古屋学芸大学)
6. 新入会員校紹介  
「20年度から新規追加となる教員免許課程」について  
.....中桐佐智子(藍野大学)
7. 「免許更新講習プログラム開発事業委託事業」について  
.....高橋 香代(岡山大学)
8. 免許更新予備講習会・楠本久美子(四天王寺大学短大学部)
9. ホームページ開設.....今野 洋子(北翔大学)
10. 事務局からお知らせ  
編集後記.....櫻田 淳/楠本久美子

Newsletter Vol.7 (2008.12.24 発行)

1. 協議会会長挨拶.....高橋 香代(岡山大学)
2. FD委員会主催ワークショップ報告・瀧澤 利行(茨城大学)
3. 各種委員会活動報告
  - 1) 教育課程検討委員会.....岡田加奈子(千葉大学)
  - 2) 養成制度検討委員会・今年度の活動について  
.....高橋 香代(岡山大学)
  - 3) FD委員会.....瀧澤 利行(茨木大学)
4. トピックス 教員免許更新講習について
  - 1) 熊本大学教育学部 養護教育養成課程  
.....松田 芳子(熊本大学)
  - 2) 福岡県立大学図書館長・教授・松浦 賢長  
(福岡県立大学)
  - 3) 愛知教育大学(2名で1講座6時間を担当)  
.....渡邊 貢次(愛知教育大学)
5. 選挙管理委員会だより—選挙管理委員紹介・活動計画—  
.....竹鼻ゆかり(東京学芸大学)
6. 卒後教育の充実を目指して  
関西女子短期大学 保健科養護・保健コース  
「養護教諭の資質向上の取り組み」.....小西 俊子
7. 事務局からお知らせ  
編集後記.....櫻田 淳/楠本久美子/大原 榮子  
(付)年賀 牛

Newsletter Vol.8 (2009.3.16 発行)

1. 協議会副会長挨拶.....大谷 尚子(聖母大学)
2. 各種委員会活動報告
  - 1) 教育課程検討委員会.....岡田加奈子(千葉大学)
  - 2) 養成制度検討委員会活動報告・高橋 香代(岡山大学)
  - 3) FD委員会活動報告.....瀧澤 利行(茨木大学)
3. トピックス  
教員免許更新講習
  - 1) 金沢大学.....長峰 伸治(金沢大学)
  - 2) 愛知学院大学心身科学部健康科学科  
.....下村 淳子(愛知学院大学)
  - 3) 関西福祉科学大学.....大川 尚子(関西福祉科学大学)
  - 4) 弘前大学教育学部保健講座.....面澤 和子(弘前大学)
4. 大学紹介 「初年次教育の取り組み」  
四国大学生生活科学部 養護保健学科.....西岡かおり
5. 選挙管理委員会だより.....竹鼻ゆかり(東京学芸大学)
6. 事務局からお知らせ
  - 1) 2008年度の会員数の実態.....中桐佐智子(藍野大学)
  - 2) ホームページの活用について・今野 洋子(北翔大学)
 編集後記.....櫻田 淳/楠本久美子/大原 榮子  
(資料)日本養護教諭養成大学協議会 加盟大学一覧 98 大学  
.....資料作成 中桐佐智子(藍野大学)